

税制調査会（第3回総会）終了後の記者会見議事録

日 時：令和2年10月22日（木）12時56分

場 所：財務省第3特別会議室

○中里会長

会議でもお話ししましたが、今日はまず前回の意見の整理を行いました。皆さんが前回いろいろおっしゃった意見の整理を事務局から簡単に御説明いただきました。これも分かりやすくてよかったです。その後、老後に係る税制の在り方、それから、経済のデジタル化に伴う国際課税上の対応、これらについて非常に活発な議論を行うとともに、納税環境整備に関する専門家会合について、岡村座長から御報告をいただきました。

次回、第4回総会はライフコースの多様化等の経済社会の構造変化を踏まえた資産課税、それから、納税環境整備に関する専門家会合からの報告、これを議題に開催することとしたいと考えています。

○記者

佐藤英明教授が今日、御紹介されていたJIRA構想なのですが、あれは実現に向けて具体的な議論を深めていくという理解でよろしいのでしょうか。

○中里会長

すぐにこのアイデアがどうかということではなく、広範囲な視点から様々な問題を解決できる大きめの器を用意していただいたということで、JIRA構想について様々な方が様々な御意見があると思うのです。そういうことを考えていければと思っておりますが、今は、JIRA構想を即実行に移すとかそういうことでは必ずしもなく、佐藤英明教授は、いろいろな問題点を全て含めてくださいましたので、我々の頭の整理のためにとっても良かったということです。

○記者

先ほど退職金と年金について、等価ということではコンセンサスが得られたかと思うのですが、熊谷特別委員や他の複数の委員の方から、テクニカルな議論よりも全体像を示すべき、また、他の委員の方からイギリス型か米国型か、将来の姿を議論すべきではないかという御意見があったのですが、今後、進め方としてどのようにお考えでしょうか。

○中里会長

これは、それぞれの委員の方々の御専門とか御職業により考え方は様々ではないかというように思います。大きな方針を示すのがお得意な方もいらっしゃるし、詳細なところを詰めてなされるのがお得意な方もいらっしゃると思うのです。しかし、制度を考えていく上にはどちらも重要だと私は思っています。どちらか一方に偏することなくバランスを考えながら現実的に考えていくというのがよろしいのではないかと

いうことで、様々な意見、考え方の委員の方がいらっしゃることで政府税調の強みですから、それを十分に生かせるように様々な御意見を承りたいというように考えています。

○記者

公平な老後の資産形成に向けて様々な論点はあると思うのですが、会長として税調でどのように議論していけばいいのかというところを改めてお考えをいただければ。

○中里会長

私自身は法人の国際課税やファイナンス取引の国際課税が専門なものですから、本日のように、老後のことをしっかりと丁寧に考えていらっしゃる方々の御意見を幅広く承るということから始めたいと思って、最適任だと思われた佐藤英明教授にいらしていただき、また、他にも様々なお考えをお持ちの方、外部にもいらっしゃいますし、税調の内部にもいらっしゃいますから、それぞれ皆さん、素晴らしいお考えをお持ちの方がいっぱいいらっしゃいますので、できるだけそういう方々の御意見に注意深く耳を傾けて整理していくという、それが基本的な姿勢なのではないかと思います。

そういう姿勢でなければ、このような人によって考え方が様々で、さらに、利害得失、様々なことが絡む問題について、とてもではないけれども方向性は示せないので、まず耳を傾け、それを整理する。これをまずやっというと考えています。

○記者

今日の会議の中でも出たように、働いている中でも様々な働き方が出てきて、あるいは老後と言われる期間でも様々なライフコースがあるという中、こういった問題について、働き方とか老後のライフコースという在り方がどんどん変わっている中で、資産形成に向けた税制の在り方というの、今、検討していくタイミングであるとお考えですか。

○中里会長

去年の中期答申でもいろいろまとめましたが、そのときに既にもう働き方が実に多様になっているということが出てきていますが、コロナの問題以降、そういう問題が増幅させられて、それのみならず、さらに多様化したというところがございますので、真剣に現実とか状況を正確に取材して整理するということをしていかないと、とてもではないですが、抽象的な議論だけではどうにもならないというところがありますので、まず知っというということです。

私自身、この3月で大学を定年退職いたしまして、コロナの下での働き方の現状について、いろいろなことを見聞きできました。友人たちが老後どうやって暮らしているか。第一線で活躍している方もいらっしゃいますし、自宅で悠々という方もいらっしゃいますし、経済的に苦労している方もいらっしゃいます。それは私の個人的な見聞でしかないわけですが、そのような老後の働き化について、理論的にいろいろ一生懸命考えている方がいらっしゃると思うのです。

我々はどういう方がどこにいらっしゃるかについて、必ずしも分からない場合があるかもしれませんが。ですから、記者の皆様にも、ここにはこういう方がいらっしゃるというようなことがあったらぜひこちらにも御紹介いただいて、情報を皆さんと共有しながらいろいろな方向に、国民にとって望ましい方向に進めていけたらと、今はまだとてもそんな自信はないのですが、一生懸命努力したいと考えております。

○記者

終わりにします。ありがとうございました。

○中里会長

今日は、委員の皆様、非常に一生懸命だったので、時間が伸びた点はどうか御理解のほど、よろしく願いいたします。ありがとうございました。

[終了]